



2010年3月期
中間決算説明会

(第2四半期累計)

2009年11月24日

ワイエイシー株式会社

(証券コード: 6298)

<http://www.yac.co.jp>

A solid blue horizontal bar spans the width of the page at the bottom.



1. 会社概要



本日のキーメッセージ

成長戦略

- グリーン ニューデール
- グローバル展開の拡大
- 企業体質強化と飛躍への仕込み



次 第

1. ご挨拶と会社概要……………代表取締役社長
百瀬 武文
2. 世界同時不況下での事業戦略……………代表取締役社長
百瀬 武文
3. 中間決算の総括……………代表取締役社長
百瀬 武文
4. 中間決算概要……………管理本部経理部長
古橋 博
5. 通期の展望と第10次中期計画……………代表取締役社長
百瀬 武文
6. グリーン ニューディール
FEL…………… 常務取締役
佐藤 康男
太陽電池……………太陽電池事業部長
曾根田 栄悦
7. 質疑応答



1-1 基本情報

(2009年11月2日現在)

商号	ワイエイシイ株式会社
証券コード	6298 (東証1部)
設立	1973年(昭和48年)年5月
代表者	代表取締役社長 百瀬武文
事業所等	本社：東京都昭島市武蔵野3-11-10 営業所：大阪、昭島、新竹(台湾)、上海(中国) 工場：昭島、山梨、熊本、大分
グループ会社	ワイエイシイ新潟精機株式会社(新潟県妙高市) HYAC Corporation(米国) YAC Systems Singapore Pte Ltd(シンガポール)
投資会社	株式会社NDマテリアル 篠田プラズマ株式会社
資本金	2,756百万円
事業内容	産業用エレクトロニクス関連装置、クリーニング関連装置の開発・製造・販売
決算	3月31日



1-2 当社の主力製品

▲ハードデスク関連

- ・バニッシャー装置
- ・ワイピング装置
- ・クリーンコンベア

▲液晶関連

- ・プラズマ・ドライ・エッチング装置
- ・プラズマ・ドライ・アッシング装置
- ・アニール装置

▲半導体関連

- ・ロジック系IC用テストハンドラー

▲太陽電池関連

- ・製造装置(テクスチャリング・拡散炉・PSG(ISO)・AR成膜 等)

▲FEL関連

- ・FEL用エミッターの製作

▲クリーニング関連

- ・自動包装機
- ・ワイシャツ仕上げ機
- ・アパレル関連機械

<ハードディスク関連製品>

バニッシャー	ハードディスク製造工程において、ディスクに磁性体を生成後、表面のナノオーダーの微小突起を除去する精密研磨装置
ワイピング	ハードディスク製造工程において、ディスクに磁性体を生成後、バニッシュ工程の前後で、表面のパーティクルの除去及び潤滑財を表面に均一にする装置
クリーンコンベア (HD工場向け)	モジュールの組み合わせで自由な搬送ライン設計が可能なローラー式コンベアAGV(自走型搬送ロボット)やOHT(天井架設型搬送装置)に比べ、搬送物をいつでも搬送ラインに投入することができ、搬送効率が高い。
クリーンコンベア (半導体工場向け、 太陽電池工場向け)	(同上)但し、半導体向けは搬送物が300mm用ウエハポット、太陽電池はガラス基板又は約5"ウエハーが入ったカセットで、ハードディスク用に比べコンベア幅大きく、より高い耐加重性、耐衝撃性、高速搬送が要求される。
クリーンコンベア (液晶工場向け)	(同上)但し、搬送物はパネルサイズに切りだされた基盤を搬送する、ハードディスク用に比べコンベア幅大きく、より高い耐加重性、耐衝撃性、高速搬送が要求される。



バニッシャー



ハードディスク用クリーンコンベア



半導体用クリーンコンベア

<液晶関連製品>

プラズマ・ドライ・エッチング
装置

液晶ディスプレイの各セルの液晶整列方向を個々に制御する微小トランジスターをガラス基板上に描画するプロセスで用いる。
フォトマスクを通して露光した結果、硬化した部分以外を除去後、露出した薄膜をプラズマを利用してガス化し除去する装置。



第7世代用プラズマ・ドライ・エッチング装置(3チャンバータイプ)

対応
基板サイズ

G2
G4
G4.5
G5
G5.5
G6
G7
G7.5
G8

<半導体関連製品>

ロジック系IC用
ICテストハンドラー

ICのパッケージング後の検査工程で、テスターと接続して使用し、テスターからのテスト結果信号に基づき、ICを良品と不良品に自動選別する装置。
必要に応じて、精度の高い高温・低温(-55°C~155°C)下でのテストも行う。



ICテストハンドラー(4個同時測定・常温タイプ)



新製品 ICテストハンドラー(16個同時測定・常・高温タイプ)

<太陽電池関連商品>

太陽電池(結晶・多結晶)製造装置

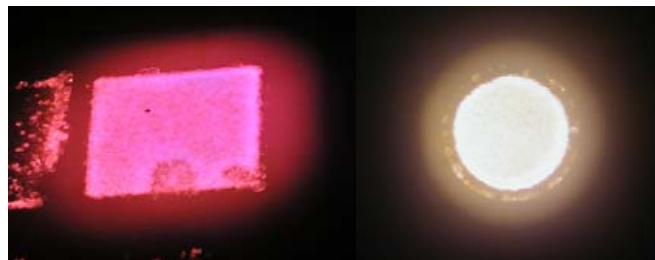
結晶・多結晶型太陽の全ライン(インライン・バッチ方式)の製作。
特徴

- ・テクスチャリング (バッチ・インライン装置)。
- ・拡散炉 (P塗布装置・チューブ(バッチ)式・インライン装置)。
- ・PSG(ISO) (バッチ・インライン装置)。
- ・反射防止膜(AR)成膜 (PECVD装置)。
- ・配線印刷 (スクリーン印刷/乾燥炉)。
- ・配線形成(BSF形成) (焼成炉)
- ・その他関連装置



<FEL関連商品>

<p>ナノダイヤモンド薄膜製造</p>	<p>金属等の材料の表面にナノダイヤモンドの薄膜を生成したエミッターを製作。</p> <p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none">・従来の蛍光灯と異なり、水銀・鉛等の有害物質を使用しない。・LED(発光ダイオード)に比べ発光効率が高く省エネ効果がある。・蛍光灯に比べ長寿命である。・蛍光灯、LEDに比べ発熱量が少ない。・色合成の自由度が高い。
---------------------	---



発光写真

<クリーニング関連製品>

ボディープレス機せ	シャツを前後から熱版ではさみシャツのボディー部をプレスする装置。 胴立を2つもち、プレス中に次のシャツを装填できるダブルタイプと、胴立がひとつのシングルタイプがある。 またプレス完了のシャツを自動でハンガーの掛けるオートキャリー付のタイプもあり。
タック・スリーブプレス機	シャツのタック部・袖部のプレス機(ダブルタイプ・シングルタイプ)
カラー・カフスプレス機	シャツの襟部・カフス部のプレス機(ダブルタイプ・シングルタイプ)
包装機	クリーニング完了後の衣類にカバーフィルムを自動で装填する装置。 ハンガーのままカバーする立体タイプとたたんだ状態でカバーする平面タイプがある。
アパレル関連機械	洋服の生産工程、縮絨機(生地を蒸気で安定化させる)、芯地・接着機(裁断後の生地を張り合わせる) プレス仕上げ機(完成商品のシワを取り成型する)



シャツ用ボディープレス機
(Wタイプ・オートキャリー付)



包装機 (立体タイプ)



縮絨機



仕上げ機



2. 世界同時不況下での事業戦略



2・世界同時不況下での事業戦略

2-1・企業体質の強化

- ・事業内容の変革
- ・事業コスト（製品コストダウン）
- ・経営コスト（固定費、経費の圧縮）
- ・社員の意識改革（自分の仕事の経営者）

2-2・飛躍への仕込み

- ・シェアアップへの差別化
- ・取扱商品の増加
- ・グローバル展開の拡大
- ・グリーンニューディール
- ・有料サービス・消耗品の拡大



3-1 中間決算の総括

単位 百万円

中間決算結果（連結）

	売上	営業利益	経常利益	当期純利益
計画	2,500	▲400	▲420	▲420
実績	3,396	▲304	▲353	▲391
増減額	896	96	67	29

前年対比固定費削減

	前年比較
全社経費	29%減
全社人件費	18%減
全社固定費	23%減



4. 中間決算概要



4-1 決算のハイライト(連結)

(単位:百万円)

科目	2007年 3月期 中間期	2008年 3月期 中間期	2009年 3月期 中間期	2010年 3月期 中間期	前年比 増減額	前年比 増減率(%)
売上高	10,452	12,791	7,515	3,396	▲4,118	▲54.8%
営業利益	1,709	1,597	530	▲304	▲834	—
経常利益	1,694	1,586	563	▲353	▲915	—
当期利益(中間期)	1,095	1,038	327	▲391	▲717	—
1株当たり当期利益 (中間期)	114.7	107.5	35.1	▲42.1	▲77.2	—
営業利益率	16.3%	12.5%	7.1%	▲9.0%	—	—
研究開発	93	136	153	132	▲20	▲13.6%
設備投資額	41	179	13	277	263	
減価償却実施額	79	67	87	132	45	51.6%



4-2 事業別売上金額(連結)

(単位:百万円)

科目	2007年 3月期 中間期	2008年 3月期 中間期	2009年 3月期 中間期	2010年 3月期 中間期	前年比 増減額	前年比 増減率(%)
メモリーディスク関連	5,048	4,383	1,663	402	▲1,259	▲75.8%
液晶関連	3,911	6,995	4,073	2,127	▲1,945	▲47.8%
半導体関連	866	469	956	93	▲862	▲90.2%
FEL	—	—	0	1	—	—
太陽電池関連	—	—	—	92	92	—
クリーニング関連	627	944	823	678	▲143	▲17.5%
合計	10,452	12,791	7,515	3,396	▲4,119	▲54.8%



4-3 事業別受注金額(連結)

単位 百万円

科目	2007年 3月期 中間	2008年 3月期 中間	2009年 3月期 中間	2010年 3月期 中間	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
メモリーデスク関連	5,782	3,330	1,491	581	▲910	▲61.0%
液晶関連	8,475	1,469	5,112	416	▲4,696	▲91.9%
半導体関連	897	452	676	105	▲571	▲84.5%
FEL	—	—	0	—	—	—
太陽電池関連	—	—	—	103	103	—
クリーニング関連	627	944	823	678	▲145	▲17.6%
合計	15,781	6,195	8,102	1,887	▲6,215	▲76.7%

クリーニング関連は、販売計画に基づいた見込み生産をしておりますので受注＝売上となります。



4-4 事業別受注残高(連結)

単位 百万円

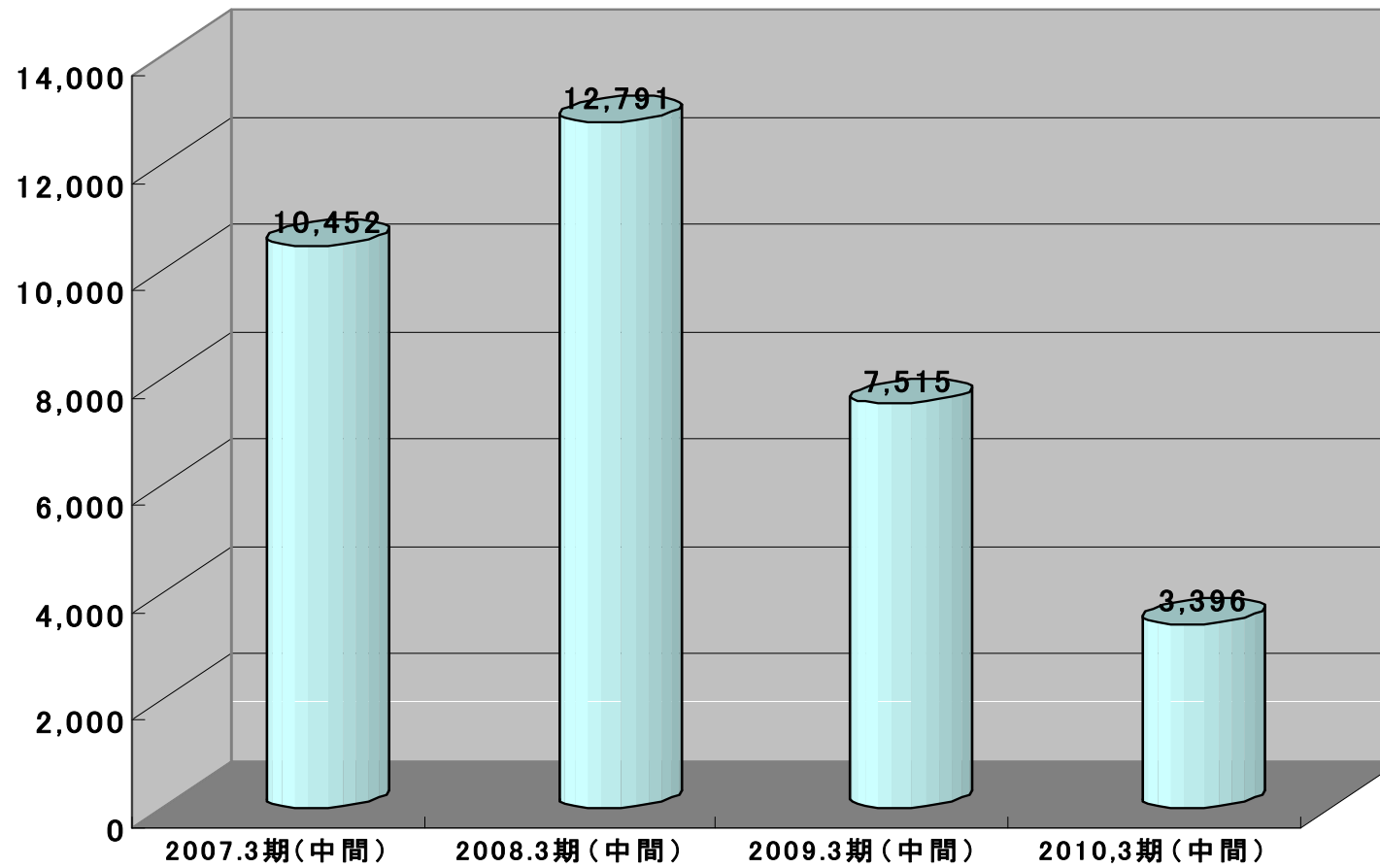
科目	2007年 3月期 中間	2008年 3月期 中間	2009年 3月期 中間	2010年 3月期 中間	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
メモリーデスク関連	3,846	1,743	690	470	▲219	▲31.8%
液晶関連	12,971	4,353	9,967	3,811	▲6,156	▲61.8%
半導体関連	225	140	121	22	▲99	▲81.8%
FEL	—	—	0	0	—	—
太陽電池関連	—	—	—	11	11	—
クリーニング関連	—	—	—	—	—	—
合計	17,042	6,236	10,779	4,315	▲6,463	▲60.0%



4-1-1 年度別売上金額(連結)

単位 百万円

全社

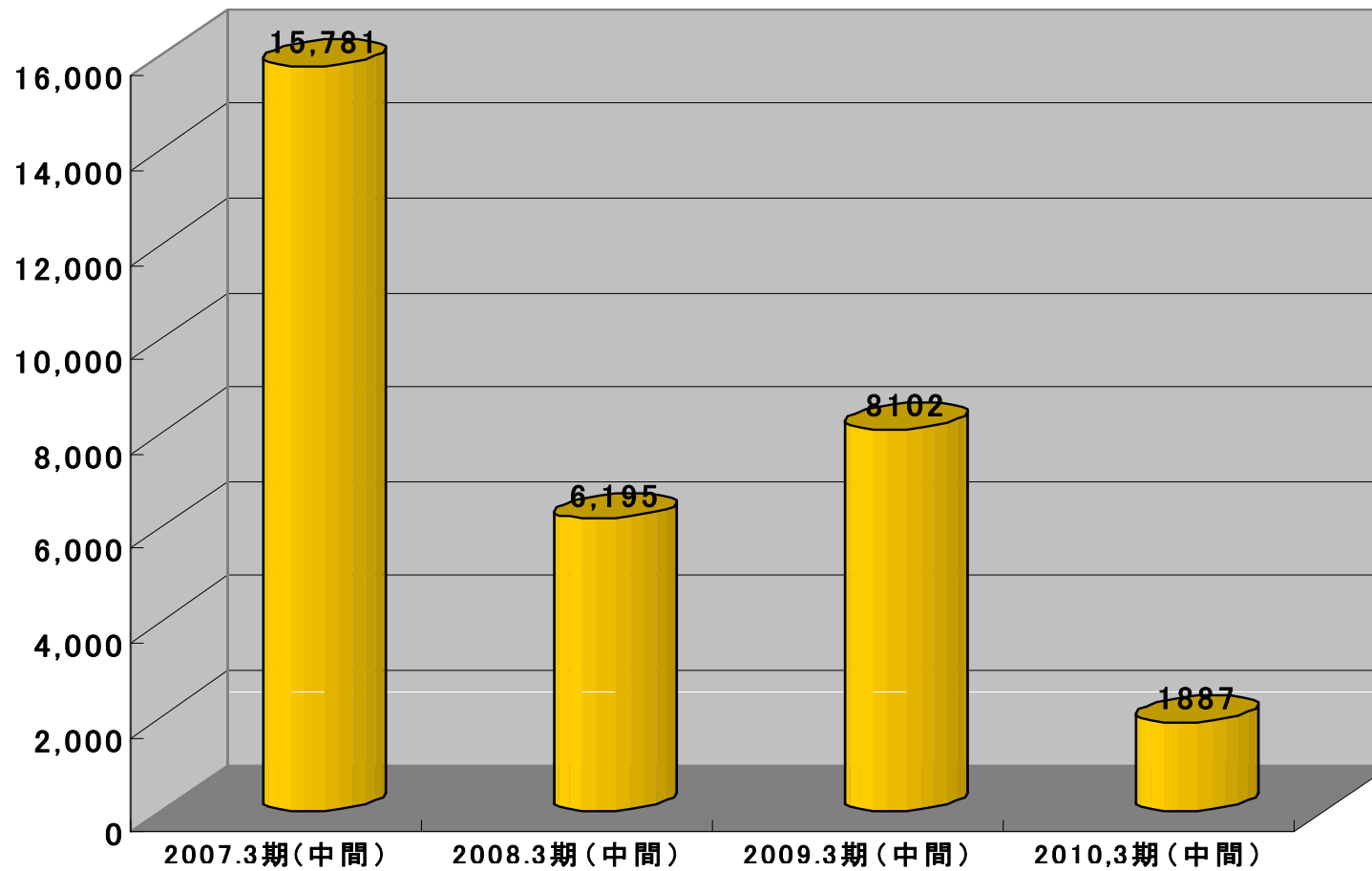




4-3-1 年度別受注金額(連結)

単位 百万円

全社





4-5 損益計算書のレビュー

(単位:百万円)

科目	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2007年 9月中間期	2008年 9月中間期	2009年 9月中間期	前年同期比 増減率(%)
売上高	22,424	21,198	12,628	12,791	7,515	3,396	▲54.8
売上原価	16,711	16,694	10,224	10,095	5,864	2,775	
売上総利益	5,713	4,504	2,403	2,696	1,650	621	▲62.4
販管費	2,037	2,209	2,147	1,099	1,120	925	
営業利益	3,676	2,295	255	1,597	530	▲304	—
営業外収益	73	169	243	41	68	24	
営業外費用	166	92	69	52	35	72	
経常利益	3,584	2,372	430	1,586	563	▲353	—
特別利益	9	6	10	5	13	5	
特別損失	118	3	28	0	0	0	
税引前当期純利益	3,475	2,375	412	1,591	576	▲349	—
税金費用	1,372	851	▲97	553	250	41	
当期純利益	2,103	1,524	510	1,038	327	▲391	—



4-6 貸借対照表のレビュー

(単位:百万円)

科目	2007年 3月期	2007年 9月中間期	2008年 3月期	2008年 9月中間期	2009年 3月期	2009年 9月中間期	前期末比 増減額
流動資産	20,638	19,343	18,236	16,459	13,607	11,979	▲1,628
現金預金	5,360	4,468	4,625	5,724	5,351	5,038	▲312
売上債権	7,471	9,538	9,218	6,513	4,647	4,305	▲342
棚卸資産	7,204	5,131	4,153	3,901	2,994	2,359	▲635
その他	603	206	240	321	613	276	▲337
固定資産	2,970	3,440	3,166	3,119	3,357	3,525	167
有形固定資産	2,661	2,806	2,828	2,813	2,842	2,950	107
無形固定資産	110	104	100	95	88	107	19
投資その他の資産	199	530	238	211	426	467	40
資産合計	23,608	22,783	21,402	19,578	16,965	15,505	▲1,460
流動負債	12,466	9,729	8,500	6,023	3,513	2,635	▲878
仕入債務	9,199	6,854	4,133	4,215	2,443	1,571	▲871
短期借入金	1,364	1,642	3,647	957	611	664	53
その他	1,903	1,233	720	851	459	398	▲60
固定負債	1,098	2,153	2,172	2,699	2,654	2,589	▲64
社債・長期借入金	610	1,435	1,622	2,134	2,128	2,069	▲59
その他	488	718	550	565	525	520	▲5
負債合計	13,564	11,882	10,672	8,722	6,167	5,224	▲943
純資産	10,044	10,901	10,730	10,856	10,797	10,280	▲517
負債純資産合計	23,608	22,783	21,402	19,578	16,965	15,505	▲1,460



4-7 キャッシュフロー計算書のレビュー

(単位:百万円)

科目	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2007年 9月中間期	2008年 9月中間期	2009年 9月中間期
営業活動によるCF	2,095	▲2,823	3,568	▲1,538	3,444	188
投資活動によるCF	▲91	▲306	▲11	▲266	▲5	▲328
財務活動によるCF	▲1,401	2,582	▲2,814	959	▲2,363	▲102
現金及び現金同等物の期末残高	5,336	4,621	5,344	4,465	5,718	5,038



5. 通期の展望と第10次中期計画



5-1 事業環境(設備動向)

<ハードディスク市場>

- 各社、生産は回復してきているが、新規設備投資には慎重である。ドライブの需要は年率5~6%上昇すると思われる。
- 次世代ディスクであるDTR開発は一時中断しており、当面、現有技術応用での記録密度アップを計ると思われる。

<液晶パネル市場>

- 大型は、中国独自と日本、韓国、台湾メーカーの中国への進出が活況であり、2010年は受注が増える。
- 中型はモニターを牽引するNet-PCに期待出来る。
- 小型はスマートフォンの急成長により、今後四世代の投資が見込まれる。

5-1 事業環境(設備動向)

<半導体市場>

- 半導体市場の回復により、設備投資が期待できる状態になった。

<FEL市場>

- グリーンニューディールの流れと共に、大きな省エネ効果のあるFELの期待が高まっている。



5-1 事業環境(設備動向)

<太陽電池市場>

- **グリーン ニューディールの流れと共に、太陽電池の市場も急速に高まってきた。**
- **Siの供給が安定化した事により、結晶系の太陽電池の引合いが活発化している。**
- **主力のテクスチャリング装置に加え、新製品の開発を進めている。**

<クリーニング市場>

- **国内及び北米。EU市場は停滞気味である。**
- **中国(大陸)市場のクリーニングニーズが急速に高まってきており設備投資が期待出来る。**



5-2 2009年度通期計画(連結)

単位 百万円

科目	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期 (通期見込)		対期初 増減額 (見込)
				期初計画	修正計画	
売上高	22,424	21,198	12,628	11,000	9,500	▲1,500
営業利益	3,676	2,295	255	300	250	▲50
経常利益	3,584	2,372	430	250	200	▲50
当期純利益	2,103	1,524	510	150	90	▲60
1株当たり当期純利益 (円)	219.1	158.1	54.8	16.1	9.6	▲6.4



5-3 事業別売上金額(連結)

単位 百万円

科目	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期 (通期見込)		対期初 増減額 (見込)
				期初計画	修正計画	
メモリーディスク関連	9,899	7,039	2,238	2,300	1,086	▲1,214
液晶関連	9,400	10,919	7,609	5,000	6,000	1,000
半導体関連	1,403	1,093	1,164	700	440	▲260
FEL関連	—	—	1	10	4	▲6
太陽電池関連	—	—	—	1,300	370	▲930
クリーニング関連	1,720	2,145	1,615	1,690	1,600	▲90
売上合計	22,423	21,197	12,628	11,000	9,500	▲1,500



5-4 第10次中期計画の基本戦略

第10次中期計画（平成21年度～23年度）

平成21年4月1日

高収益企業文化の構築と規模の拡大

(高収益企業文化の構築と規模の拡大へのバックアップ)

資材本部
管理本部
社長室
内部監査室
環境管理室



<p>事業予算の達成</p> <p>事業部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモリーディスク ・半導体 ・プラズマシステム ・クリーニング ・FEL ・太陽電池 <p>グループ会社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HYAC ・YSS ・YNS <p>投資会社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)NDマテリアル ・篠田プラズマ(株) 	<p>(1) 経営基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高収益企業文化の構築 ・規模の拡大 ・デバイス事業の急拡大 ・グローバル経営 ・グリーンニューデール ・内部体制強化 ・やりがい経営
	<p>(2) 経営目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上500億円以上 ・営業利益率15%以上 ・新製品売上20%以上
	<p>(3) 経営目標達成への成長戦略</p> <p>① 既存事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主力製品のシェアアップ（差別化） ・取扱製品の増加（アライアンス） ・グローバル展開の拡大（東南アジア） ・サービス事業の拡大 ・消耗品 ・依命システム ・事業コスト ・経営コスト ・人材教育・モチベーション <p>② グリーン ニューデール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽電池 ・FEL <p>③ M&A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新事業の取込 ・シナジー効果 ・アライアンス



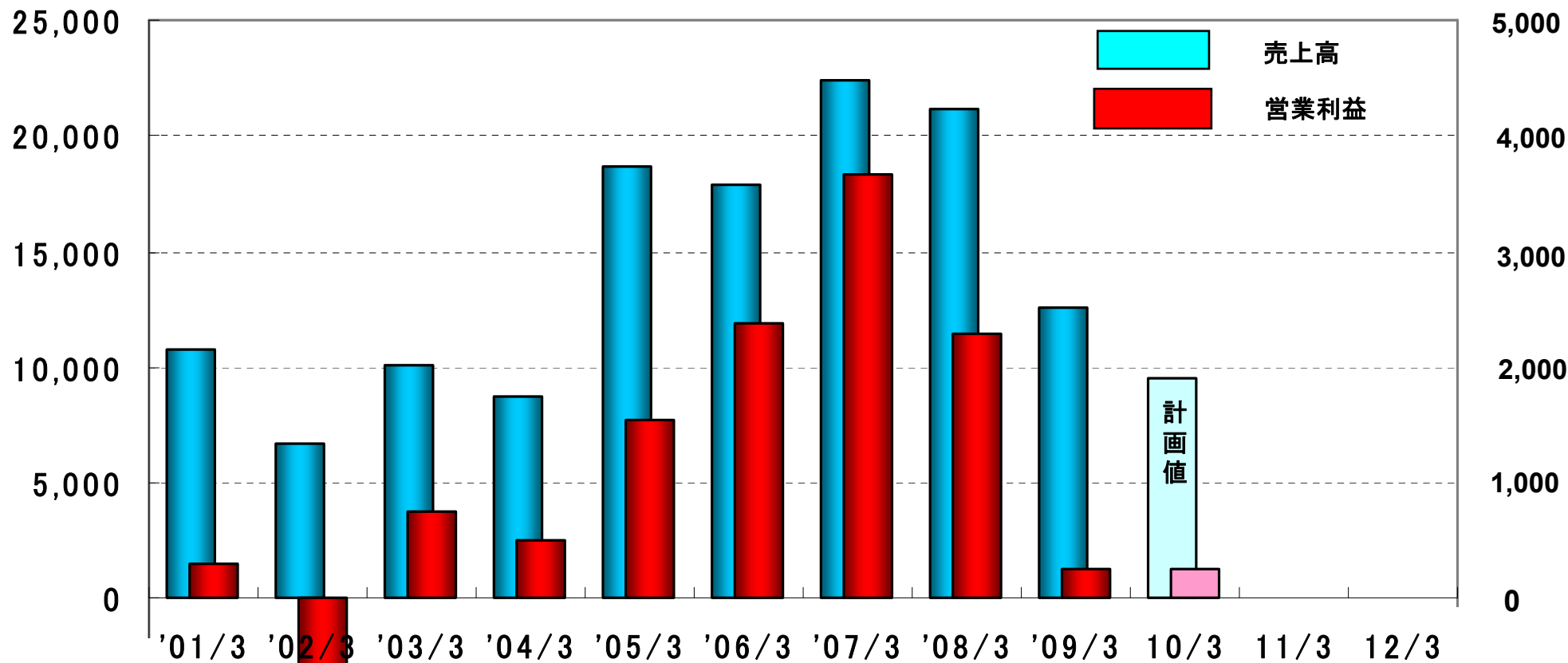
5-5 業績推移と第10次中期計画 (連結)

売上高

売上・営業利益実績

百万円

営業利益



第7次中期計画

第8次中期計画

第9次中期計画

第10次中期計画

V字回復

優良企業復活

高収益企業挑戦

高収益企業文化の構築と規模の拡大



6.グリーン ニューディール

- ・FEL事業
- ・太陽電池事業
- ・自社製品の省エネ化



FELの現状

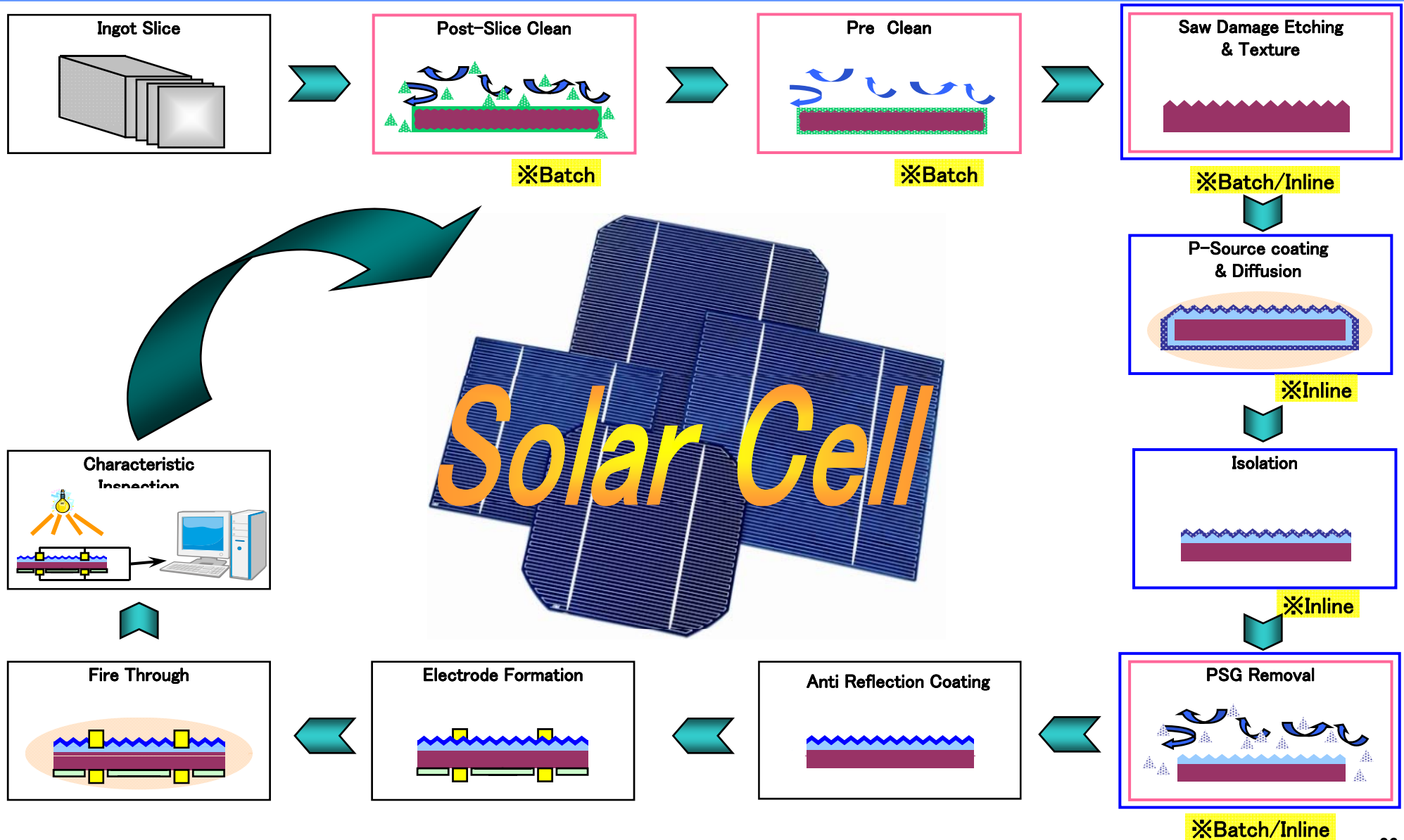
- ・エミッターの販売を開始。
- ・量産化の開発(生産性向上、歩留まり向上、製膜時間短縮)を進めている。
- ・ランプの製作の開発も進めている。

太陽電池

1. 太陽電池セル化工程
と装置ラインアップ
2. 生産拠点
3. 事業展望



1-1. セル化工程と使用装置





1-2. 装置ラインアップ

	Equipment Model	Mono Silicon Cell	Multi Silicon Cell
Slurry Cleaning Post-Slice Cleaning	Inline	—	—
	Batch	○	○
Texturing	Inline	—	—
	Batch	○	○
Wet Isolation	Inline	○	○
	Batch	—	—
PSG Etching	Inline	○	○
	Batch	○	○



1-3. 装置外観写真

INLINE

- ◆ Texturing
- ◆ Wet Isolation
- ◆ PSG Etching
- ◆ DIFF.



BATCH

- ◆ Slurry Cleaning
- ◆ Post-Slice Cleaning
- ◆ Texturing
- ◆ PSG Etching



2-1. 生産拠点(大分工場)



【大分工場】

- ▼建物 : 三階建て
- ▼敷地面積 : 30, 278m²
- ▼述べ床面積 : 11, 609m²

最終組み立てラインに併設にてデモ機設置

数字の処理について

2009年3月期より、記載されて金額は百万円未満を切り捨て処理し、その比率については1円単位未満で計算した結果を小数第2位を四捨五入で処理しています。

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予数値と異なる可能性があります。

ワイエイシー株式会社